

学校評価実施結果

記

1 学校目標

「学び合い 自分を表現する子」の育成

〔重点施策〕

- ①学び合い、主体的に表現する力を高める授業の充実
 - ・考えをつなげて話し合い、学び合う力を育てる
 - ・主体的に表現（文章・絵・声・行動）する力を育てる
- ②主体的に「人・もの・出来事」とつながり、他者と協調・協働する心を育てる体験活動と表現活動（発信）の充実
 - ・他者との連携・協働によるコミュニケーション能力の向上
 - ・体験したこと・学んだことをプレゼンテーションする力を育てる
- ③「強い心と体」の育成
 - ・体育の授業及び業間運動の充実による走る力と体力の向上を図る
 - ・心身ともに健康的で望ましい生活習慣の育成

2 今年度の学校目標と重点施策の達成状況

（評価：A 十分達成した B 達成した C 達成できなかった D まったく達成できなかった）

	重点施策①	重点施策②	重点施策③	学校目標 達成度評価
評価	B	A	B	B

3 学校目標に係る成果

- 算数科を中心として、導入から課題設定までにおける教師のはたらきかけや、対話を通して学び合うための指導や支援の工夫を意識した授業実践に取り組んだ。話し合いの進め方や観点を掲示したり、自力解決をもとにしたペアやグループでの話し合いの場を設定したりするなど、話し合いのさせ方を工夫させることにより、対話を通して自分の考えを広げたり深めたりすることができた。また、特別活動や学校行事を通して、文章や声、行動などで主体的に表現することができた。さらに、学校関係者評価においても、「授業でたくさん意見を言えるようになってきている」「個に応じた指導がよい」「入学したころから自信がついてきている」などの評価をいただいた。
- 地域の協力のもと、主体的に「人・もの・出来事」とつながることを意識させ、地域や他校との関わりをもつ活動を実施した。浜学習や海岸清掃、学校農園での栽培体験や金浜ウォークラリーなど子ども主体の体験活動を実施することにより、ふるさと金浜を誇りに思う気持ちをもつとともに、友達とのよりよいコミュニケーションをとることができた。また、学校関係者評価においても、「里海・里山学習で児童が積極的に体験し楽しんでいる」「学習発表会では、協力して練習したことがわかり、うまく発表ができていた」などの評価をいただいた。
- 各学級の体育の授業や、マラソンやなわとびなど業間活動を充実させたことにより、走る力と体力の向上につながった。また、生活チェック週間の活用や学校保健委員会での保護者との連携を通して、インターネットやゲームとの関わり方など健康で望ましい生活習慣の定着に近づけることができた。また、学校関係者評価においても、「マラソン大会で誰もあきらめず走り切っていた」「なわとびでも個人目標の達成などで充実感をもたせながら目標に向かってがんばれた」「各種の運動で児童のやる気を引き出している」などの評価をいただいた。

4 学校目標に係る課題及び今後の改善方策

- 多様な考えにふれ、自分の考えをつなげたり広げたりすること、ともに学び合うための対話力を身に付けることが課題である。各教科等において、はきはき話したりわかりやすく伝え合ったりする対話力を身に付けさせるための手立てを工夫し、授業改善に取り組んでいく必要がある。
- 体験したことや学んだことをまとめ、堂々とプレゼンテーションする力をさらに向上させることが課題である。今後は、地域とかかわる体験活動を通して学んだことをまとめ、発信する表現活動を充実させ、表現力を高める必要がある。
- 早寝早起きやゲーム・動画の時間など、基本的な生活習慣の定着が課題である。今後は、保護者への情報発信に努め、家庭との連携を継続していくとともに、児童一人一人に応じて日常的に指導をしていく必要がある。